

知的生産の技術8 20011203

八木先生のお話を伺った感想

“過去の自分は他人”
という言葉が印象的。
私にとって過去は
あくまで自分のもの
ですが、振り返ってみると
過去の自分は、確かに
今とはかなり違うと
思うのも事実です。
面白い見方もある
ものだなと思いました

自分史とは何か
どうすればいいのかわ
分からなかったが
八木先生の話聞いて
少しでも分かった

身の上話について
その人の歩んできた
人生を知って初めて
その人自身が分かる
という言葉
理解できました

今日、先生の話聞いて
自分史を書く自分
どのくらい成長したの
分かるようになること
一番印象に残っています

人が見て面白い自分史を
つくるということ。また、人が
面白いと思う人生の経験を
たくさんつくるということ。
過去を振り返ってみたら、
波乱万丈だったなあって
思えるようになった

“自分史”とは一体何を
どんな風書いていくのか
見当がつかず、不安に
思っていました。先生の
講義は、その心配を一気に
解決してくれました。先生の
話す、一言一言がじんわりと
しみ込んでくる感じで、とても
分かりやすく親しみ易かった

先生は両親の死を文に書くことで
トラウマが治ったとおっしゃって
いました。私は今、自分にある
コンプレックスの原因は何なのかが
少し分かってきましたが、それを
自分史に書こうかどうか迷って
います。書くことで何かが変わる
かもしれないけど、それを書くのが
怖い。先生は勇気のある人ですね。
私も克服できるように頑張ります。
ありがとうございました

今までは過去を思い出して
メモするという作業だったけど
今度は、その全てを1つのものに
文章としてまとめなければ
ならないので、結構苦労しそう

タイプ
1

書いたら分かる！
その通りですね

裸になる。」
何もかも書くというのは
最初は抵抗がありました。が
嫌なこともあえて書くことで
自分が成長できるかも
しれないと考えが変わった

自分史の話をしてい
る間は、自分史を完成
させたという達成感のよ
うなものが感じられま

タイプ
2

私にも深い深い心の傷がありますが
いつか八木さんのように
ふとしたきっかけでなくなるのでしょうか？
後数十年しないとなくならないので
しょうか？だとしたら辛いです

先生のお話は、とても面白かったです。
ぜひ先生の本を読みたいです

今日、八木先生が泣きながら
死ぬ思いで書いて、それによ
って逆に救われたという
お話を聞いてハッとしました。
嫌な部分にもきちんと光を
当てて、自分の成長する
きっかけになるような
自分史を書きたいと思

短い自分史になる」と思っていたが
今日の話聞いて長い自分史になる」
と思いました

タイプ
3

今日は自分史よりも
戦争について考えて
しまいました。テロとか
本当に何でだろうって。
人間はちゃんと進化して
いるのかなと思いました

自分史を書くことにより
自分がどういう人物なのかが
次第に明確化し
自信が持てるようになってきた

タイプ
4

立派な方の人生は
図にしても説得力がある。
私もキャリアプランを
しっかりと立て
生きていくことを決心する

お話を聞いて本当に良かった。
話をただ聞いただけなのに
その当時の様子や、その時の
八木先生の気持ちなどが
一つ一つ胸に訴えてきた。
私もこれから自分史を
描く上で、相手の心に
訴えられるものを書きたい。
今日はありがとうございました

知的生産の技術8 20011203

授業外にも親に話を聞いてみたりと他にも方法があることに気付かされた

お話を少し聞いただけで先生の温かい人柄が伝わってきました

自分が影響された物事を整理していくと自分の人生に意味が出てくるのではないかと希望が持てました

久恒先生は八木先生の影響を大きく受けているように感じた

最近、自分が何をやりたいのか本当に看護でいいのか分からなくなってきたので自分の人生テーマを早く発見したいです

先生のお話は戦争よりもその時の生活ぶりのことをたくさん話してくれたので今までの戦争の話よりも興味深かった

何十年にもわたる自分史を事細かに覚えているのは素晴らしいと思った。自分は十何年すらもはっきり覚えていないというのに

八木先生は、なぜ自分史を書こうと思ったんですか？

今までの自分史をしっかりと書いて自分を見つめ直したいと感じました

タイプ4

自分史を書くときは社会的な出来事と平行して書くことが大切ということを知り良かった

自分史を書く目的は自分史を書いて初めて分かる」と聞き自分史を書くことが少し楽しみになりました

自分史の具体的な書き方などを聞いて良かった。内容の濃い自分史にしたいです。自分に正直になりたい

八木先生が、ずっと楽しそうに話をしていたのが印象的でした。子供時代の写真がとても可愛いらしかったです

何を書けば良いかあまり分からなかったが八木先生の話聞いて構想がまとまり、いつでも書き始めることができるようになった

八木先生がトラウマを克服していった話は本当に胸が一杯になりました。貴重な話を聞かせていただきありがとうございました

「人が読んで楽しい自分史にする。」私は自分史を人に見せることに抵抗はないのですが、それに出てくる周りの人のことを考えると首をひねってしまいます。自分史には親や兄弟も出てくるわけで私が人に知られていいと思っていても彼らが知られたくないと思っていることもあるのではないのでしょうか？

タイプ5

昔の思い出を笑顔で楽しそうに話す八木先生が輝いて見えた

自分の人生しか考えたことがありませんでしたが様々な方の生き方を聞いて今後の人生のヒントにしていきたいと思いました

八木先生の話聞いてから今まで書かないでごまかそうと思ってた、結構重大なことを書いた方が自分はいいような気がしてきた。書いたら清算できるかな

「自分に嘘はつかない」という話が印象的でした。いい所だけつまんで書いたり大きめに書いたりするのはあまり面白くなく読み手が共感できるような話にするには嫌なことや恥ずかしいことも全て書くことが大切だと話されていて、とても参考になりました

このように刺激のある話を聞くと自分の知識や考え方に大変影響を与えてくれるので色々な人の話を聞きたい

自分の人生が平坦過ぎて山が見つからないようで少し不安になりました。細かい所まで思い出せるかどうか不安です

八木さんの話を聞いたお陰でより良い自分史が書けそうな気がします。今までは誇張気味だったんですが、ありのままにさらしてみたくなりました

タイプ7

先生は真実な歴史を求め続けその中で自分史を書くことはとても素晴らしいと思います

知的生産の技術8 20011203

他人のことを書く」ということも大切なことだと改めて気付かされた。人間は様々な人々と関わって現在に至っている。「自分史」とは自分のことだけを書いても、出来上がることはないのだ

先生は、自分が細かな自分史を書くことによって昔の友達との思い出を共有できる場が増えることができいいなあと思いました

“トラウマ”の部分を出すのはとても辛いのですが、先生はどうやって乗り越えたのですか？ずっと笑顔でお話くださっているのが、とても印象的でした

自分の母が、祖母が亡くなった時に八木さんと同じように、とても傷ついて悩んでいた。私はそんな母を見て、居たたまれない気持ちで見ていることしかできなかった

今日のお話を聞いて自分の過去と正面から向き合うことの辛さと大切さを学んだ気がします。私には重い後悔というのはありませんが、小さな後悔というのは数え切れないほどあります

人間には必ず、他人には言えない経験があり、それを書くことにより自分史が完成するということには驚いた

人の思い出話を聞くのは面白いです。小さい頃可愛かったです。お母さんとてもキレイな方ですね。お父さんも優しくそうで…

昔の事は昔のままの心で書かなくてはという所は特に納得しました。私も今の考えばかりを取り入れず、当時の気持ちを大事にしたい

タイプ9

先生は自分史に嘘や空白の部分を作ったりしたら分かると言われましたがそれはどうして分かるのですか？

名前に「哲」と付く人は説明が上手い人が多いという印象があるが名前はやっぱり当人に影響を及ぼすものなのか？

「自分史を書く時には他人のことも書かなければならない」という言葉に共感しました。本当にそうだと思います

タイプ7

久恒先生にも八木先生のように嘘や書いていない空白を見抜ける力がありますか？

今日のお話を聞いているうちに私の自分史のタイトルが決まった。ついでにフォントも決まった

タイプ8

日記のような自分史は面白くない。面白おかしく書く」とありましたがユーモアを混ぜつつ書いても良いのでしょうか

久恒先生が用意してくれたヒントをどのように書いていけばいいのかと悩んでいましたが、今日のお話で書き方が分かった気がします。身の上話は大切」とおっしゃっていましたが、本当にその通りだと思う

時代を描くことで自分に関わった人のことも思い出し自分への影響も考えることができると感じた

自分の人生の中で「つかえている部分」を書くことで、前進することができるという八木さんの体験を交えた言葉が印象的だった

自分史を書くのは想像した以上に大変だと思った。親に聞かなければいけないことがたくさんあった

「自分史」を早く書いて自己分析をするのが楽しみ。今までの授業でその材料が少しずつ明確になってきました

諦める理由を探して自分に納得させられるような、人生を送らないよう「自分に素直に」生きていきたいと思いました

書けることは今のうちに書いておきたいと感じました

自慢史にならないようにと言われたんですが自分史を書く上である程度自慢史が入ってしまう気がするんですがいいんでしょうか？

先生のお話はとても分かりやすかった。八木先生の笑顔はとても私の心を明るくした

先生のお話を聞きながらメモを取ってたら自分の中で、自分史がだんだん想像できてきました。今まで自分史がどんなものになるか、想像もつかなかったのでかなり参考になりました

知的生産の技術8 20011203

八木先生の話し方がとても好きです。私達の時代より、もっと様々な経験をしているような印象を受けました。これからの作業頑張ります

ゲストスピーカーを招いて話を聞くのは、とてもいい

自分史を書くことでトラウマがなくなったなんてすごいことだと思います。苦しい事も頑張っと思いついて書きだせばきっと自分のためになるんですね。失礼かもしれませんが、やっぱり特別な経験をしてきた人の方が自分史は書きやすいのですか？

私にはどうしても人に話したくないことがある。それは嫌な思いをしながらも書かなくては行けないのですか？それは他の人に話すことによって私のこれからの人生も変えてしまうくらい！重大なことで話したくないことなのですが

自分に嘘をつくな」とあるが基本的に物事は見ようと見たようにしか見えない。自分の総てを語り切ってもそこから導き出される結論は必ず見る人の見たいように見えるものだが、逆に指向性のない目というのは純粋な「観察の目」であり、そうして見た歴史は楽しいのだろうか

にこやかな顔で話してる様子は自分史の素晴らしさと八木さん自身の力強さを感じた。私の中にも考えたくない事があるがまだ八木さんのように、その事を自分史に書きたいとは思えない

八木さんの一言目から「優しそうな感じ」がにじみ出ていました。雰囲気優しいということでしょうか。お話も難しいことは言わないので分かりやすく最後までワクワクして聞いていました

「裸になる」というのは一番難しいです。自分自身に正直になれてもそれを表現できるかが問題

「ドラマチックなことがいいネタになるんだよ」と言われた八木先生の言葉を参考にしながら書き進めていきたいと思う

自分史を書くことは自己満足に終わることではなく他人に見せることで自分を知らせてもらうという効果もあるのだと思った

家族の良い所、悪い所、生活の仕方、色々な面を見てきて、色々な事を学び今の自分が作られてきたと改めて思った

いつの間にか事実を曲げたりは絶対することのないようにしたい。等身大の自分を書こうと思った

「裸になる」ということは恥ずかしいことじゃないんだということをお話の中から学んだ。実は私も書きたくないことは山ほどある。だから最近、この授業がちょっと恐かった。でもこれを乗り越えないと本当の自分史は書けないと思った

タイプ 9

?

語り合うことは、本当に大事なことだと思います。声に出すことで自分のやりたいこと、目標が見えてくるし、自分の力の弱さにも気付けるのです。人は一人では成長できません。ですから私に影響を与えてくれた人々について考えながら自分なりの自分史を書いていきたいと思っています

先週のアンケートを見てみんなが経済についてあまり興味がないことや状況を知らないことに驚いた。本を借りて読んでみてもっと参考にしたいと思う

自分史ってどのくらいの長さ(ページ数、量)を書くのですか？

自分史は、冬休みの宿題になるのですか？

講義全般への疑問・感想

「デテール」ってどういうことですか？何かピンとこないのです

今まで、そしてこれからの自分を書くことで何か新しい発見があればいいと思う。今のつまらない自分が変われば良いと思う

自分史を提出する際には規格等はあるのでしょうか？ない方がありがたいです

「成長」とは一体何なんでしょうか？

話にストーリー性を持たせるのは難しい

当時の視点に立ち返って書かなければいけないということがとても大変そうだった

久恒先生同様勉強会で目が開いたと言っていた。そういったものはこの辺では何があるのだろうか